

東風日産N6（PHEV）分解調査ガイドブック

＜ボデー骨格構造編＞



株式会社 コベルコ科研

1. 納入品

- 本ガイドブックは、購入者名を記載し、PDF形式の電子ファイルにて納品いたします。
- 本ガイドブック内の図・表等に関する電子データは含まれません。
- 納入後 1 年以内に本ガイドブック内容の不備、誤りが確認された場合は、修正版を納品いたします。

2. 知的財産権

- 本ガイドブックについての著作権を含む知的財産権は、コベルコ科研に帰属し、購入者に実施または使用許諾をするものではありません。
- 購入者による契約書およびご注文書に記載される著作権を含む知的財産権の取扱いと相違がある場合は、上記の同意を得た場合のみ販売いたします。

3. 利用制約

- 本ガイドブックの購入者外の第三者への開示、利用、譲渡、再販売はお断りいたします。

4. 免責事項

- 購入者が本ガイドブックを利用することにより生じた損害については一切責任を負いません。

以上

1. 調査車両の概要	P. 3
1) 東風日産及び N6 の車種構成	
2) 新平台 “Tianyan (天演)” プラットフォームと N6	
3) N6 と N7 の違い	
4) ハイブリッドパワートレイン	
5) PHEV専用の新エンジン	
6) 調査車両について	
2. 高剛性ボディ骨格構造	P. 11
1 構造概要	
1) 車体構成材の種類 (メーカ発表)	
2) 全体俯瞰	
3) サイドパネル主殻 - テイラードブランク・ホットスタンプ材	
4) 前方衝突力を受ける2本のバンパ	
2 N7 との違い	P. 19
1) 前方クラッシュボックス	
2) リアバルクヘッド開口部の補強	
3) フロントサイドメンバとバルクヘッドの出会い部形状	
4) ステアリングメンバの成形方法	
5) ホイールベース延長部のクロスビーム	
6) サンルーフと全天透明ルーフ	
3 N7 と共通の特徴	P. 25
1) フロントコンパートメントの2重環状構造	
2) フロア剛性の改良	
3) 内殻の構成品	
4) リアセクション構造	

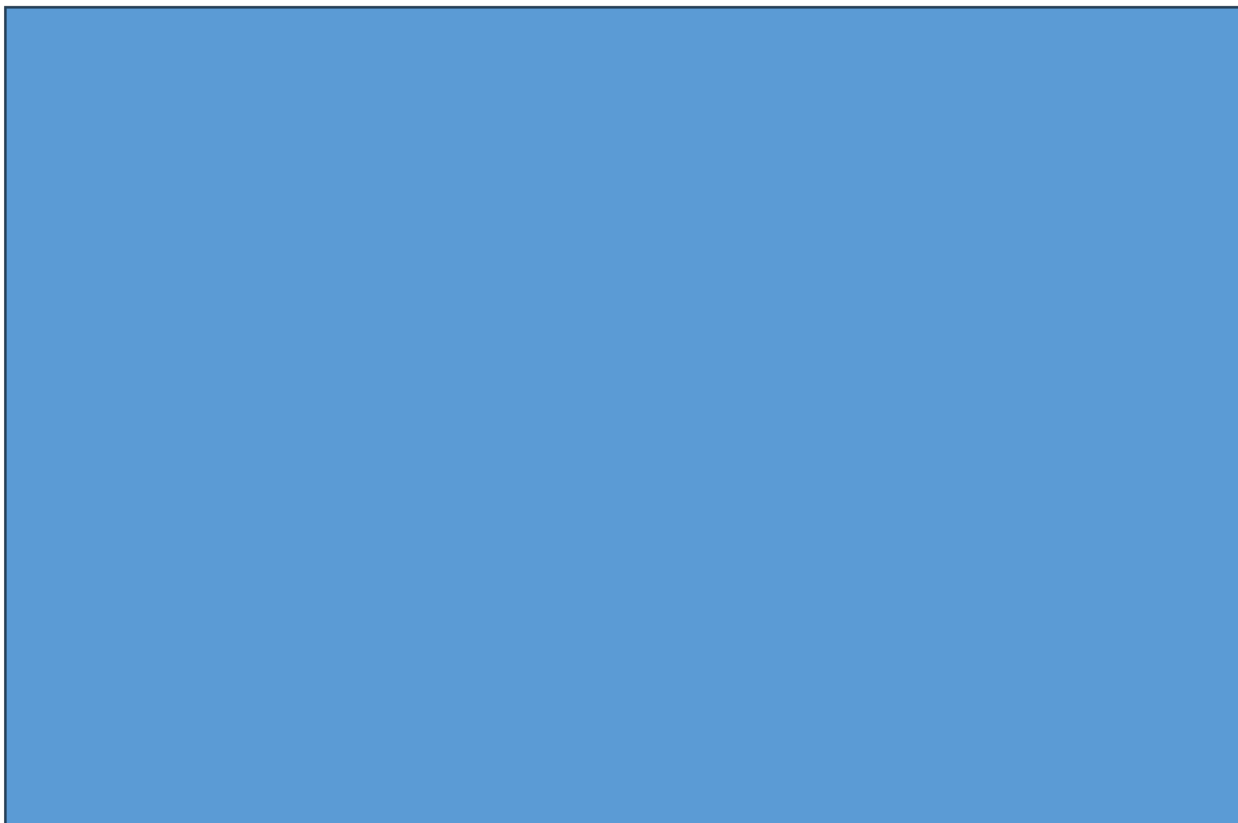
1) 東風日産及び N6 の車種構成

東風汽車及び東風日産について

東風汽車集団 (DFG) はStellantis, ホンダなどに加え日産自動車とも50-50% 出資の合併企業、東風汽車 (DFL) を傘下に持つ。セダン及び同ベースのSUVはその傘下 東風日産乗用車公司 (以降 東風日産)が開発・生産を行う (MPV、クロカン車は別企業で扱う)。

東風日産の市販車は、近年中国開発の N6, N7, NX8 を販売の中心としている。

N6 の車種構成はグレード名に"+”の付く CATL製電池搭載車とその下位グレードに2分されるがエンジン/モータ出力はいずれも同一である。

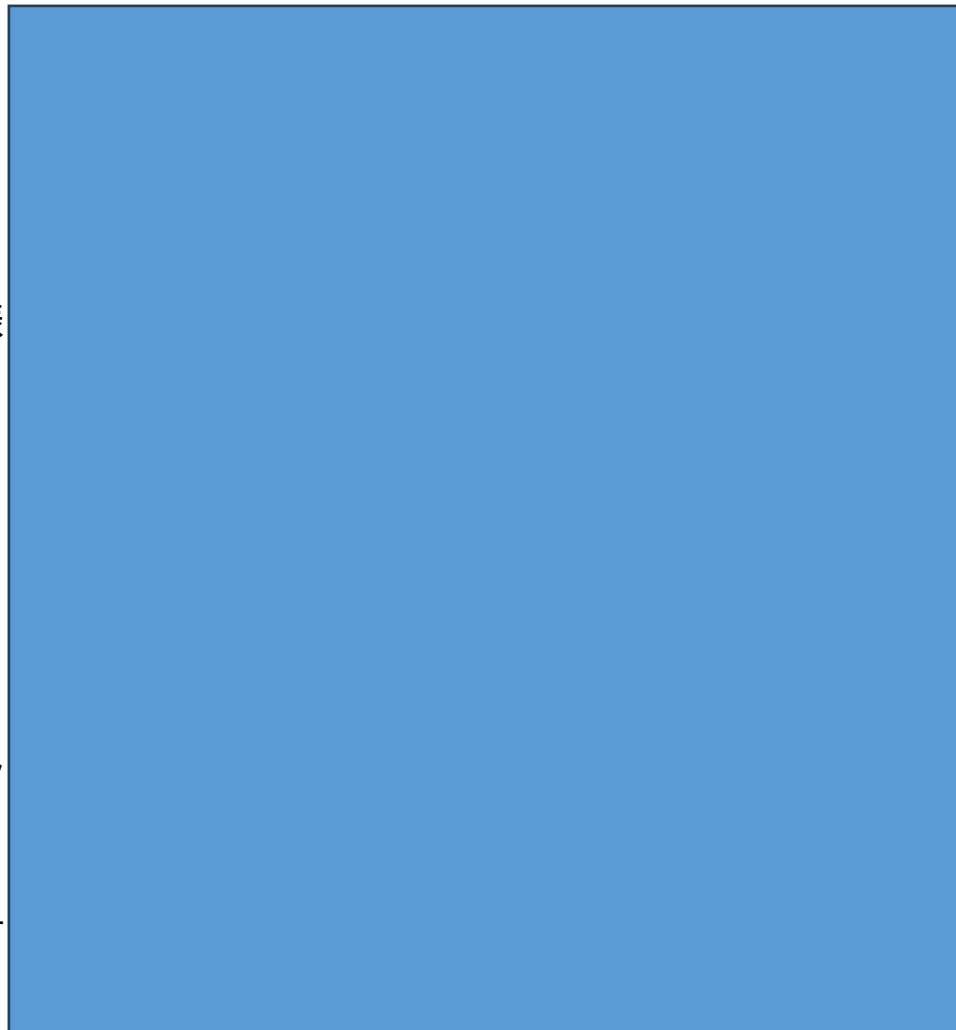


2) 新平台 “Tianyan (天演)” プラットフォームと N6

新世代プラットフォームTianyan architecture

東風日産がそのホームページで公開する新世代シャシは、“Supersolid 超高剛性” を狙い高強度材料 (1.7 GPa の鋼材多数と発表) ・アルミ大物フレーム (いわゆるメガキャスト) を採用している模様である。また、B～Dセグメントのセダン及び派生SUVをカバー、ホイールベース 2700～3150mm に対応し、駆動系種類ではBEV, PHEV, REEVを搭載可能と謳われている。

一方、N6及び姉妹車N7のフレームは全鋼製でアルミ大物は使用しておらず、各部形状も上記「新平台」のものとは異なっている。ただし、高剛性を狙う方針では一致している様である。



3) N6 と N7 の違い

N6 (PHEV, 調査車グレード) と

N7 (BEV) の諸元比較

右表の通り全長とホイールベースが約100mm短かいが、短縮部分以外もモジュラー設計的な共通化を採らず相違点が多い。「[2 N7 との違い](#)」で詳述する。

項 目	数値 (無表示単位は mm, kg)	
モデル名	N6	N7
グレード	180 Pro	510 Air
パワートレイン	PHEV FWD	BEV FWD
全長 x 全幅 x 全高	4,831 x 1,885 x 1,491 (18インチタイヤでは1,494)	4,930 x 1,895 x 1,487
ホイールベース	2,815	2,915
トレッド (前/後)	1,633 / 1,647	1,680 / 1,680
車両重量	1,675	1,837
乗車定員	5 人	5 人
エンジン	直列4気筒 1.5 l, 75 kW 直噴 (噴射圧350 bar)	---
エミッションレベル	国6b	---
走行モータ出力	155 kW	160 kW
走行用電池種類/エネルギー量	LiB (LFP) /21.1 kWh	LiB (LFP) /58 kWh
電池メーカー	Rept Battero	Sunwoda
EV航続距離 (CLTC)	180 km	540 km



N6 (調査車両) 外観



N7 (BEV) 外観例 イベントで撮影

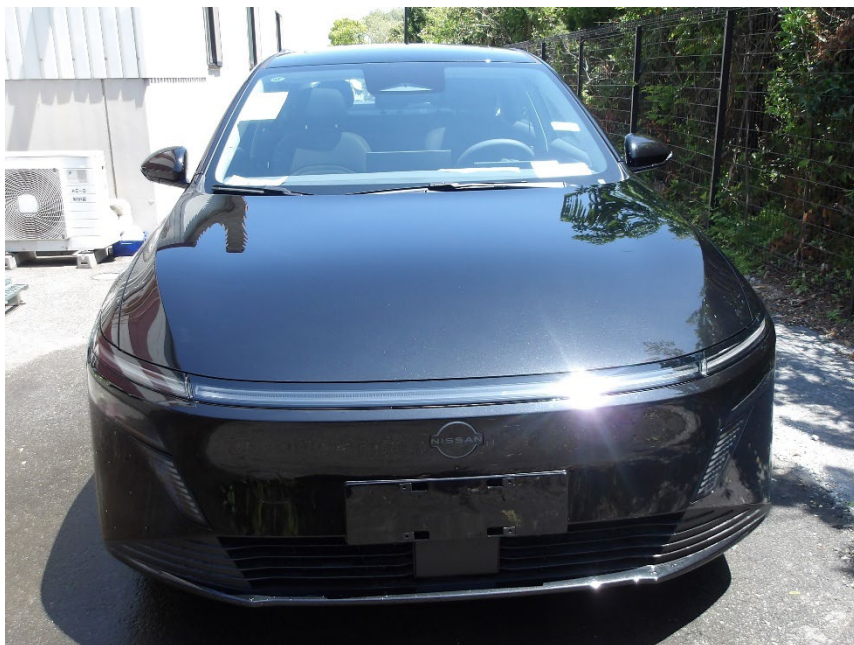
6) 調査車両について

外観

外観のロゴやトレードマークは「日産」ブランドを強調している。腰高な形状の多いxEVのなかで対照的に、姿勢が低く安定している。



側面



正面

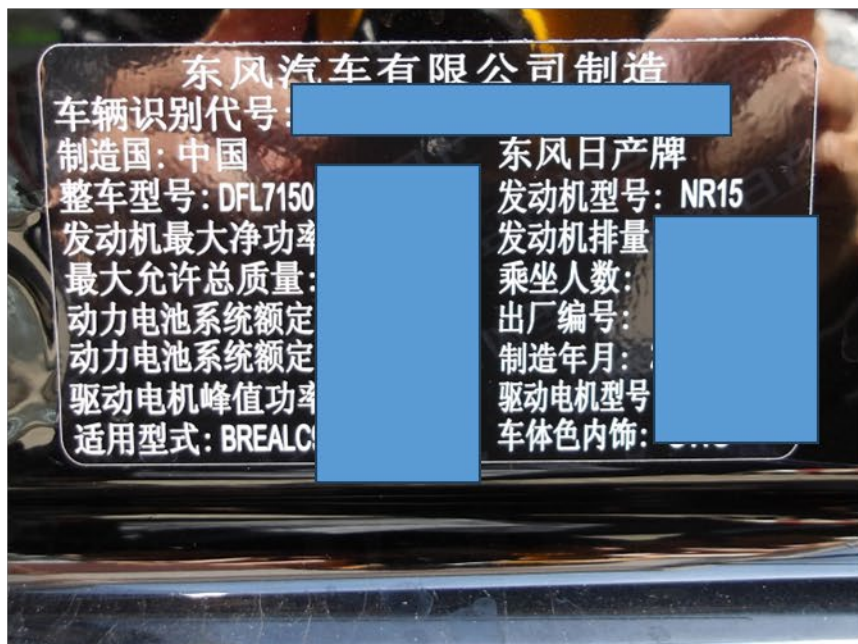


後面

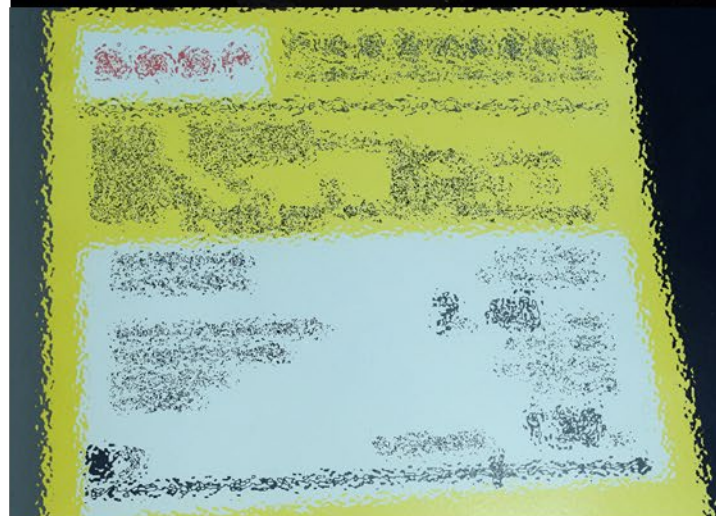
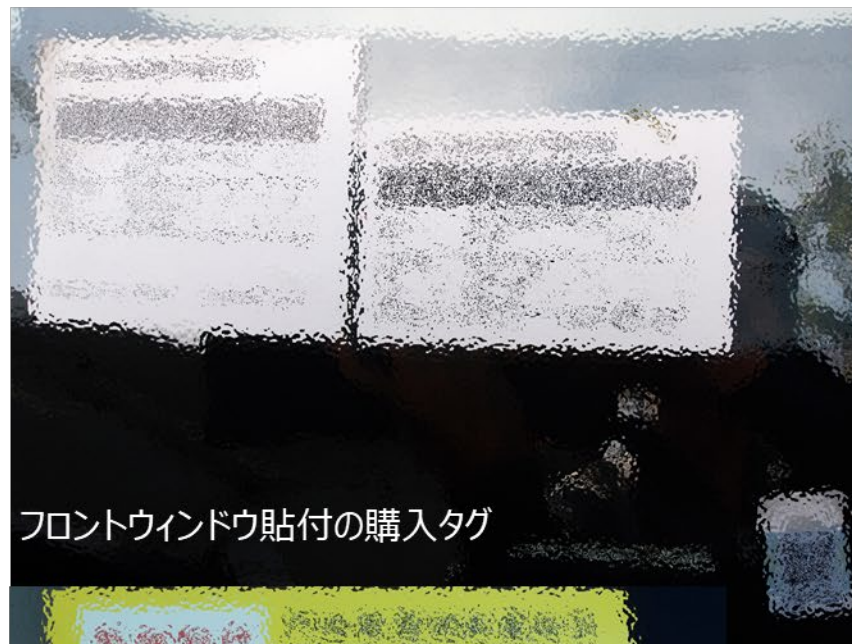
6) 調査車両について

車両の各種表示

本報告で調査した車両は中国現地で調達した。発売開始は2025年12月であり、本車両はごく初期の生産車である。



センターピラーに表示されたVIN等



フロントウィンドウに表示された燃費タグ

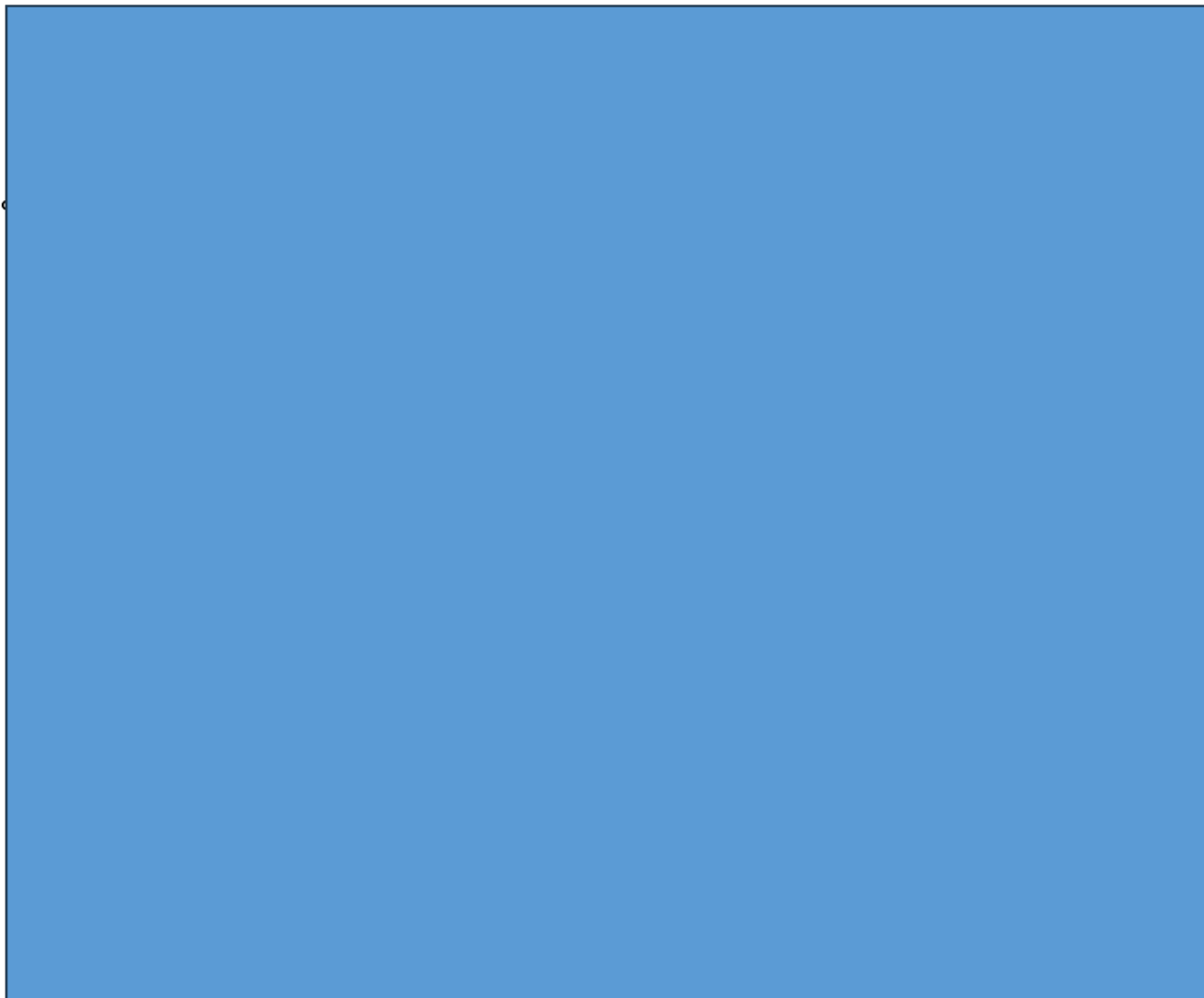
1) 車体構成材の種類 (メーカー発表)

高強度材料の使用箇所

1700 MPa 材を数十カ所に使用との発表も別途ある。

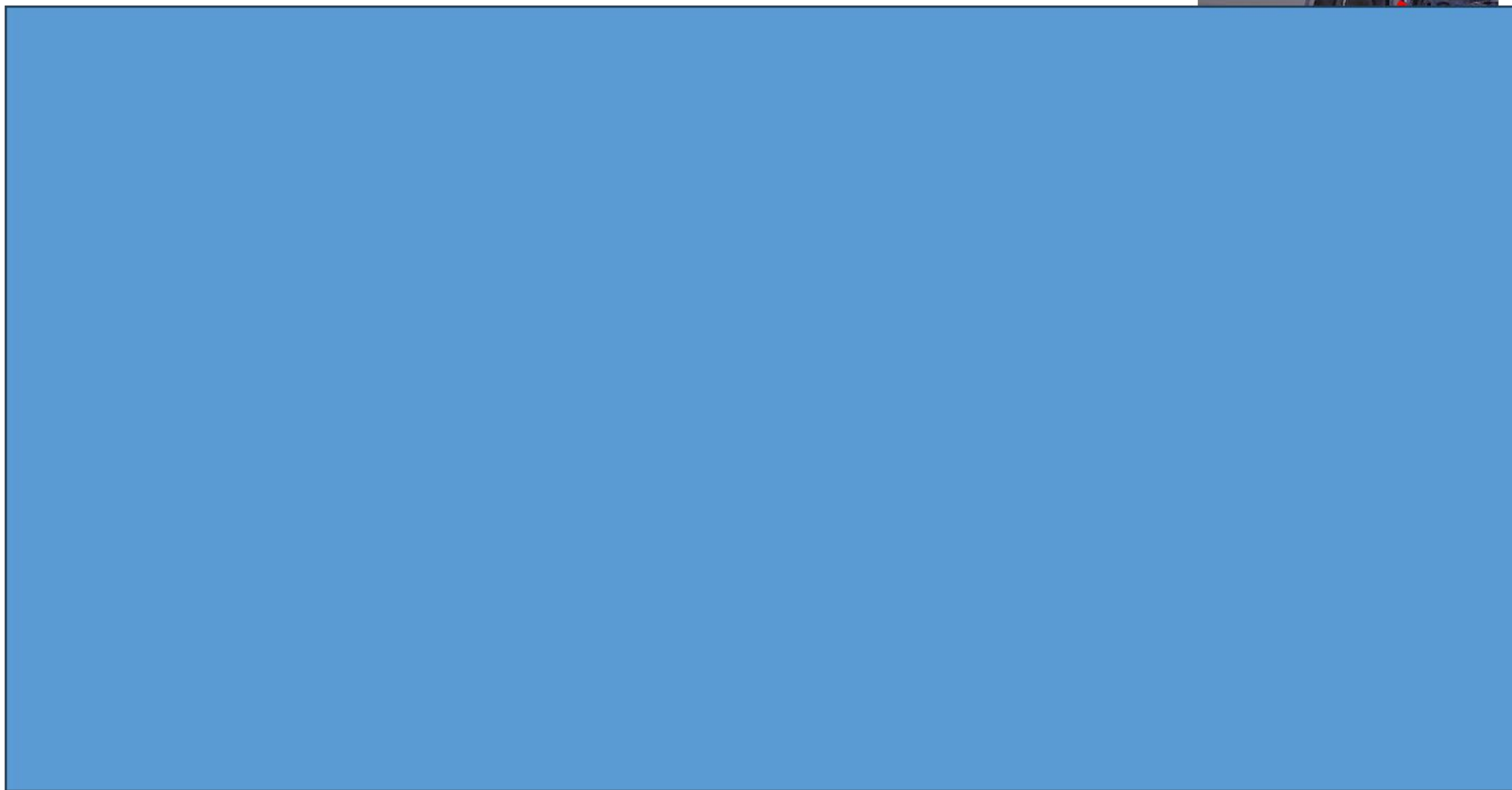
ホットスタンプ材の最大使用箇所はサイドボディの主外殻 (下注) で、一部化粧外殻 (同) の切除調査でテイラードブランク材を使用していることが判った。

注：サイドパネルは部分補強材を除けば3枚から成る。本報告では以降、外側から化粧外殻 - 主外殻 - 内殻と呼ぶ。



3) サイドパネル主殻 - テイラードブランク・ホットスタンプ材

Bピラー - N6 とN7 のサポート材の個数の違い



N6 のBピラー下端

N7 のBピラー下端